

# ことばの黄金則について

石垣光喜<sup>1</sup>、井村朱里<sup>1</sup>、小林恒平<sup>1</sup>、荒井博貴<sup>1,2\*</sup> 1. 探究教室 ESTEM、2. (株) 山のおこう (運営会社)

## 要旨

本研究では、言葉の黄金則について調査した。単語の規則性に着目して、塾の生徒にアンケートを取った。結果として、単語によって優先順位の偏りができた。この結果から、単語の親近感や想像の容易さ、難しさなどが関係していると考えられる。今後は機械学習を用いて、より単語同士の関係性を調べたい。

## 導入

この研究を遂行するきっかけとなった出来事がある。それは学校の行事などの持ち物が書かれた欄が分かりにくい単語の並びだった。その単語の並びは、生徒側にとってわかりにくく、どのような規則で分かりにくくなったか疑問に感じた。そこで、本研究では、どの言葉の並びがしっくりくるか、探究教室ESTEMの生徒に調査した。

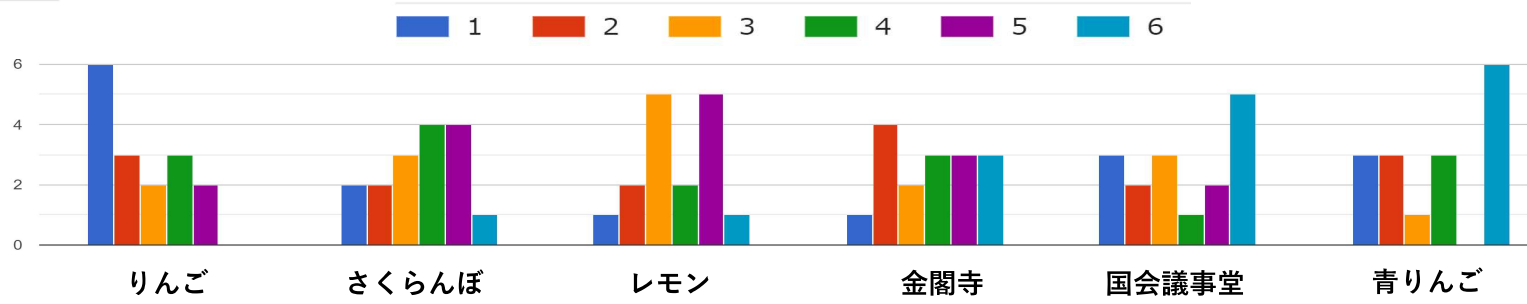
## 実験方法

- ・ 探究教室ESTEMの生徒対象に、アンケートを行う
- ・ 小中学生（16人）にアンケートをとる
- ・ アンケートをgoogle formで集計する

## 選ぶ基準

色、大きさ、親近感、物の特徴（甘いや酸っぱい）  
りんご、さくらんぼ、レモン  
金閣寺、国会議事堂、青りんご

## 結果



- ・ りんごが一番目に多い
- ・ りんごは六番目がない
- ・ 国会議事堂や青りんごは後ろに集中している

## 考察

- ・ 青りんごは特殊（六番目に多い）
- ・ 想像しにくい単語は後回しにする
- ・ 味、親近感が関わってる（甘いもの順など）
- ・ 単語区切り単語は最後に回す
- ・ 想像しにくい単語は後まわしにする
- ・ 甘いものは最初に置く
- ・ りんごは、しりとりで「しりとり」→「りんご」になりやすいように、親近感があると考えられる

## 結論

- ・ 物の特徴に着目し、単語の並びについて検証した。
- ・ 探究教室ESTEMの生徒にアンケートを行い、結果として、単語によって優先順位の偏りができた。
- ・ 単語の並びには、親近感や、想像しにくさなどが関係していることが分かった。

## 展望

- ・ データの数を増やして性別、年齢などを区別してアンケートしたい
- ・ Word2vecなどの機械学習を使いたい
- ・ 単語のチョイスなども展望に併せて変えたい

## 謝辞

アンケートにご協力いただいた探究教室ESTEMのすべての生徒のみなさまに感謝申し上げます。